

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

徳島県美馬市

自治体名：徳島県美馬市

担当課名：教育総務課

電話番号：0883-52-8010

1.自治体の基本情報

基本情報（R6年5月）

面積	367.14 km ²
人口	26,527 人
公立中学校数	7校（1校休校中）
公立中学校生徒数	591 人
部活動数	35 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市は徳島県西部に位置し、県内で8番目の規模である。総面積の約8割が森林で、清らかな水と豊かな緑に囲まれた自然の美しい地域である。美馬市内には中学校が7校あり、生徒総数は約600人である。また市全体の部活動数は35で、うち合同チームを組んでいる部活動が6つある。単独でチームを組めない部活動や生徒が希望する部活動ができないケースもある。そこで、合同チーム（野球、サッカー、バレーボール）を編制している。また卓球やソフトテニス、柔道、剣道などの個人・団体種目の入部生徒が全体の約5割となっており、練習場所の調整などの課題がある。

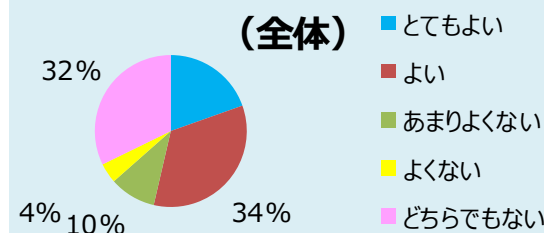
本市内の中学生、教員、保護者、小学校高

学年児童を対象に「部活動／スポーツ活動に関するアンケート調査」結果では、地域移行に賛成が、生徒・保護者は約6割、教員は9割であった。移行することで期待できることとして、①専門の指導者から指導が受けられる。②地域が活性化する等が挙げられ、一方で課題としては、指導者の人数や質の確保、学校との連携、トラブル対応の体制等が挙げられている。

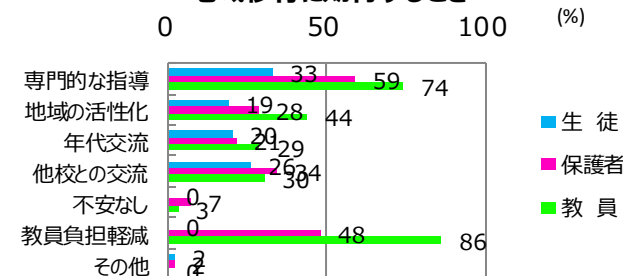
本市では「今現在、活動中の中学生が、取り組みやすいよう環境整備を行いながら、同時に令和7年度末をめざし、休日において部活動が地域移行できるよう条件を、行政主導で整えていく。」である。これらの課題を解決しながら取組を進める。

地域移行への賛否

（全体）



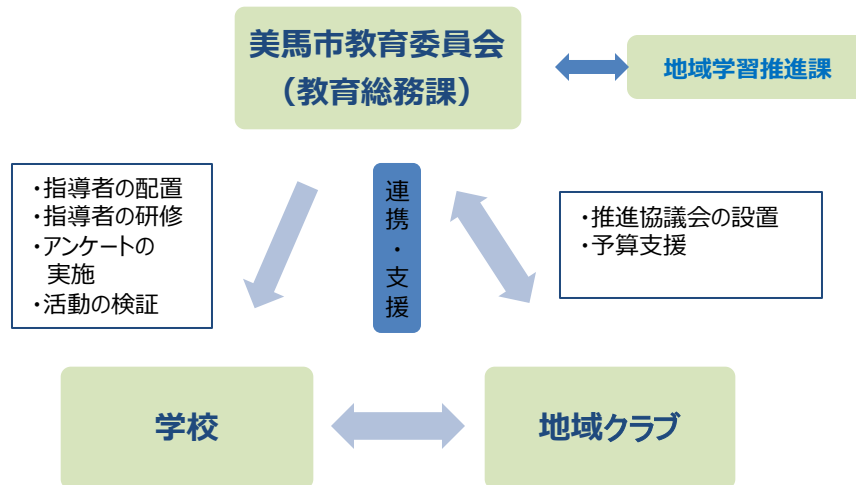
地域移行に期待すること



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育総務課）

- ・地域移行推進のための「地域移行推進協議会」の設置及び運営
- ・市内小・中学校長会との協議及び連携
- ・地域スポーツ団体等との協議（地域学習推進課スポーツ担当との連携）

◎首長部局（総務課）

- ・美馬市総合教育会議において報告・協議を実施

年間の事業スケジュール

令和6年4月	・地域移行推進体制づくり ・拠点校部活動の開始
令和6年5月	・地域クラブ活動の開始 ・部活動改革のためのヒアリング
令和6年6月	・指導員研修会の実施
令和6年7月	・美馬市第1回地域移行推進協議会の開催 ・総合型地域スポーツクラブへのヒアリング実施
令和6年8月	・県西部4市町地域移行連携協議の実施
令和6年9月	・部活動改革のためのヒアリングの実施
令和6年12月	・地域移行に関するアンケート調査の実施
令和7年2月	・地域クラブ活動関係者評価会議の開催
令和7年3月	・事業完了報告の作成 ・次年度の計画立案

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（1 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		
全体の指導者数	1 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
穴吹中野球クラブ	美馬市教育委員会	軟式野球	月 4 回／ 週 1 回	9-12	9人 (2年) 1人 (1年)	令和6年 4月～ 令和7年 3月	穴吹中 グラウンド	1 人	3 人	月費徴収 なし	中体連 部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

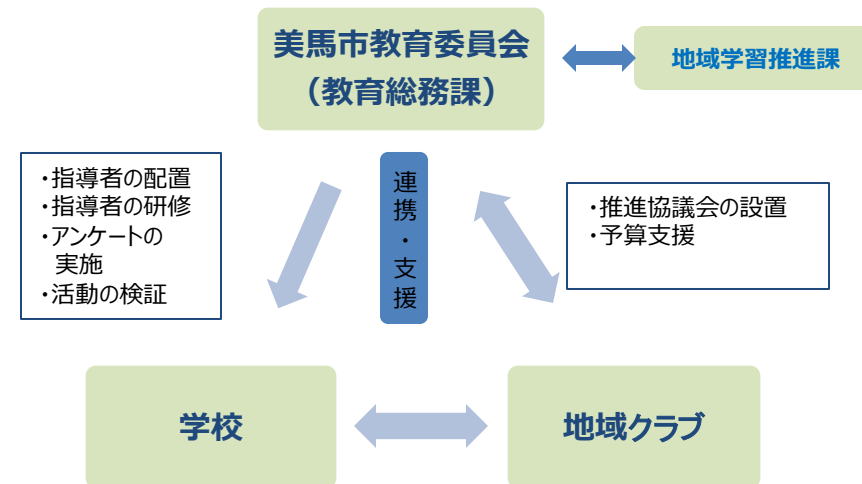
2.実証内容と成果

主な取組例

●穴吹中学校野球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球
運営団体名	穴吹中学校野球クラブ
期間と日数	野球：4月1日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	元教員（部活動指導経験あり）
活動場所	穴吹中学校グラウンド
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	会費等は徴収せず
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり（個々での対応） 指導者1人あたり（個々での対応）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：事業全般の推進及び活動及び指導者の管理

●主任指導者 1名

役割：生徒の指導及び保護者対応、各機関との調整等

●運営補助者 なし

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・地域移行推進のための担当者の配置
- ・「美馬市教育委員会部活動の地域移行推進協議会」の設置
- ・市内小中学校校長会との連携

取組の成果

- ・専門の担当者を配置することで、事業対象校の活動の充実や、地域移行に向けた取組を推進することができた。
- ・市推進協議会の協議を重ねることで、協議会の各委員の地域移行に関する実情や方向性を共有し、望ましい取組に生かすことができた。
- ・地域移行に向けた部活動の現状把握のための部活動訪問や指導者からのヒアリング等を行うことができ、美馬市の方針である「現在の生徒の部活動の環境整備」に取り組むことができた。

美馬市地域移行推進協議会委員

- ・学識経験者（鳴門教育大理事）
- ・市内中学校校長会会長
- ・市内小学校校長会会長
- ・市内中学校体育連盟会長
- ・市内中学校文化活動校長会代表
- ・市PTA連合会会長
- ・市スポーツ協会会長
- ・市総合型地域スポーツクラブ会長
- ・市スポーツ少年団本部長
- ・市陸上競技協会会長
- ・市教育委員会

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・地域移行の推進のために、各学校の部活動の現状把握は重要と間換え、定期的な訪問やヒアリングだけでなく、市小中校長会と逐次情報共有できるように、密接な連携に努めた。

今後の課題と対応方針

- ・コーディネーターの役割をさらに明確化し、地域移行全体の推進に取り組めるようにする。
- ・運営主体の行政と学校現場のさらなる連携を強化する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項	人材バンクの人数	登録者属性	種目	資格有無
・指導者の資質の保証	1 人	元教員	軟式野球	元教員
・指導者の資質向上のための研修 の実施	人材バンクの年齢構成 6 0 歳代			
・指導者の確保				

取組の成果

- ・指導者の資質の保証については、事業実施校には元教員を配置したことで、技術指導のみならず、生徒指導面等でも効果的な指導ができた。また学校との連携もスムーズに進んだ。
- ・また、本指導者は地域移行コーディネーターとして、市全体の地域クラブ設立のための体制整備の構築に取り組んだ。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

(5月28日)

「ウォーミングアップとクーリングダウンの重要性」

- ・ウォーミングアップとクーリングダウンの具体的な指導
- ・ケガの予防・熱中症の予防と対処について

(11月13日)

「クーリングダウンについて」

- ・クーリングダウンの重要性についての講義
- ・クーリングダウンのストレッチの実際（スタンディングVer、フロアVer）

計15種目の運動

(3月10日)

- ・ケガの応急処置法について

指導者研修の参加実績

- ・開催日：5月28日、11月23日、3月10日
- ・開催回数：3回
- ・参加人数：のべ40人
- ・参加者：部活動指導員、スポーツ少年団、スポーツ協会、スポーツ推進員、総合型地域スポーツクラブ各指導者

受講者の声

- 筋肉の伸びがよく分かり、練習前後に大変参考になった。
- 正しい指導の仕方が分かった。大変有意義であった。
- 実技が多く、今後の参考になった。今後は体幹トレーニングも取り入れてほしい。
- これまで知識としては知っているつもりだったが、知識は変化するので、新しい知識を知ることができた。
- 子ども達のクーリングダウンに大変有効だと感じた
- 1つずつの動きの説明がよく分かり、理解することができた。

今後の課題と対応方針

- ・研修では、すぐに使える実践的な指導を求める声が多く、専門的な知識と実践力のある「地域おこし協力隊」に指導を依頼した。生徒の安全のための熱中症や、運動のパフォーマンスの向上、身体の機能の向上等をめざすコンディショニングエクササイズに取り組んだ。今後もより実践的な研修を実施したい。
- ・現在の地域移行推進上の大きな課題は、指導者の人材不足である。市地域移行推進協議会やスポーツ団体への働きかけを今後、より具体的に推進していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・「美馬市教育委員会部活動の地域移行推進協議会」の協議を積み重ね、受皿としてのスポーツクラブやスポーツ団体との連携を図る。

取組の成果

- ・これまでの「美馬市部活動の在り方検討会」での協議の成果及び課題をもとに、各委員間でより具体的に課題解決のための方向性の確認ができた。
- ・スポーツ団体の代表者から、地域移行への取組に対する意見を聴取することができ、課題に対し、一部地域クラブ設立に向けて具体的に取り組む流れが生まれつつある
- ・委員として、学校現場職員やスポーツ関係団体者を委嘱したことで、地域移行への方向性を共有し、両者の連携が深まった。

R6年度協議会開催記録

第1回 7月5日

- ・役員選出
- ・部活動の現状と今後の取り組み協議
- ・情報交換

第2回 11月21日

- ・これまでの取組について報告
- ・県内に地域移行の現状報告
- ・今後の取組について協議

第3回（書面開催）

- ・本年度の取組報告
- ・今後の取組方針の説明

バス等の運行実績

・利用なし

バス等の運航経費・収入

・利用なし

今後の課題と対応方針

- ・本年度の協議会での議論を総括し、次年度の協議会の議論にどうつなげるか。
- ・今後はさらにスポーツクラブや団体との連携を密にし、受皿としてできる活動（体験教室等）の実現に向けて取り組む

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ・現在の地域クラブ活動（穴吹中野球部）をいかに他校に広がりをもたせるかについて取り組む。
- ・拠点校方式を通して、他校との連携をはかる。

各自治体の役割

- ・生徒数の減少や活動の運営上の問題から、生徒の活動が広域化していくため、近隣の自治体の連携が重要となっている。
- そこで、本市を含む県西部4市町で連携協議を実施し、各市町の現状と課題について、情報交換を行った。今後もさらに協議を重ね、連携して取組を進める。

移動手段

- ・本市では、部活動における合同チームの移動支援を単費で支援している。
- ・地域クラブ活動における移動については、各クラブや個人が対応するものと考えている。

事務局運営の方法

- ・各市町の地域移行担当者が窓口となって連携していく体制づくりを行う。

取組の成果

- ・地域クラブ活動内容について、様々な場で報告し、地域移行の取組について理解を得る機会をもった。
- ・事業対象校は、他校と合同チームを組んでおり、その学校にも地域クラブの活動内容を周知することができた。

今後の課題と対応方針

- ・学校関係者には校長会等を通して、地域移行について随時周知ができたが、一方で保護者に対しては、十分できていない。
- ・今後、保護者や地域への地域移行の取組の周知に取り組む

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

生徒が希望するスポーツに親しみ、生き生きと活動できる環境づくりに努める

・一人一人の生徒の実態に合わせた細かな指導を行う

・教員の負担軽減に取り組む

・美馬市として、体制整備を行う

活動の詳細

参加人数	10人	指導者数	1人
属性	穴吹中学校野球クラブ		
具体的な内容	毎週末地域クラブ活動として、平日は部活動として実施した。指導者は、平日は部活動指導員、休日は地域移指導者として指導に当たっている。		
子供の声	● スポーツ少年団でしていた野球が部活動ができて嬉しい ● 友達と野球ができる嬉しさでいっぱい ● 監督がとても丁寧に教えてくれるので、上手になっている		
関係者の声	● 指導経験者が監督で、保護者として信頼して任せることができる ● 教員の負担軽減に大きくつながっている ● 生徒が活動ができることを何より喜んでおり、技能面だけでなく人間的な成長していると感じている		
運営経費	会費は徴収せず 体制整備事業で活動日を充当		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

- ・事業対象校を含む合同チーム編成の部活動の送迎を公費（市費単独）で負担し、生徒や顧問、保護者の負担軽減につながった。
また、送迎がスムーズにできることで、活動時間も確保され、活動が充実した。
- ・部員数の多い部活動に対しても、他の活動場所の借用と送迎も公費負担を行ったことで、活動が充実したものとなった。
- ・ICT機器（タブレット）を活用し、指導者が送迎の車両の予約や、保護者が生徒の見守りができる機能を利用することができた。

今後の課題と対応方針

- ・今後とも、国土交通省のモデル事業をさらに活用し、送迎についてICT機器を活用し、生徒の安心・安全な活動の環境整備に取り組む。
- ・送迎についての予約等窓口を一本化し、地域の交通協会が対応することで、よりスムーズな輸送体制を構築する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- ・既存の施設を有効活用する。
- ・必要な機材を充当する

取組の成果

- ・平日に部活動を実施している穴吹中学校グラウンドを、休日にも有効に活用している。
- ・生徒にとっては同じ条件での活動であるため、活動が大変しやすく、充実した活動につながった。
- ・施設の利用については、平日と同一人物であるため、スムーズな利用ができた。
- ・学校施設のため、教員との連携が取りやすく、円滑な利用ができている。
- ・生徒の安全を守るための手立てについては、AEDを単独で設置し、活動の場合に身近に置き、必要な場合にはすぐに使用できるようにした。

今後の課題と対応方針

- ・今後とも活動場所については、既存の公共施設（学校等）を主体に有効活用する。
- ・今後、他の活動場所において、同様の場合が生じた際には、救急処置のできる機材の設置を進める。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本年度も、昨年度に引き続き、地域クラブ活動として、穴吹中学校で軟式野球部の活動を休日に実施した。

当初、穴吹中学校で軟式野球部の設置が、学校運営上困難となり、本事業の実施により、生徒の軟式野球の活動を希望を叶えることができた。生徒の生き生きとした姿が見られている。

指導者は、元教員で、長年軟式野球の指導に携わっており、高い指導力と野球を通して人間的な成長を願う方針で指導に臨み、保護者からも大きな信頼を得ており、「指導者の資質」は十分であった。

本事業の評価については、以下の観点から行った。

- ①生徒の希望するスポーツ活動について
- ②指導について（資質や指導方針）
- ③地域クラブとしての体制づくりについて
- ④教員の負担軽減について
- ⑤その他

評価結果については、次の項目に記す。

●成果の評価

○本事業の成果

- ・生徒が自分が希望する野球部の活動が有効に実施することができた。
- ・生徒は生き生きと活動し、スポーツを楽しみながら取り組むことができた。
- ・スポーツ活動を通して、礼儀などを身につけ、社会性や向上心等を養うことができた。
- ・事業主体の行政側と、学校及び指導者間の連携ができ、スムーズな指導を行えた。
- ・指導者が平日の部活動と休日の地域クラブの活動とが同じ人物となったことで、スムーズに移行され、生徒が戸惑わずに一貫した活動を行うことができた。
- ・保護者からも有意義な活動ができているとの評価を得ている。
- ・顧問の配置については、主となる指導者を確保できたことで、事務的な業務に携わる副顧問を置くことで、教員の働き方改革につながっている。

●今後に向けて

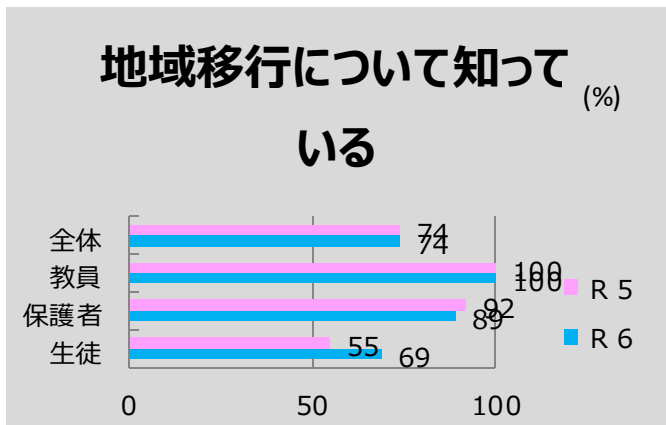
- ・生徒数の減少等によるチーム種目の編制が困難になる状況が予想されるため、より広域的な編制による取組を進めることが、必要となる。
- ・地域クラブ活動の実現のためには、指導者の確保はのみならず、クラブ運営を行える制づくりが不可欠となる。体制づくりをいかにサポートしていくかが課題である。

2.実証内容と成果②

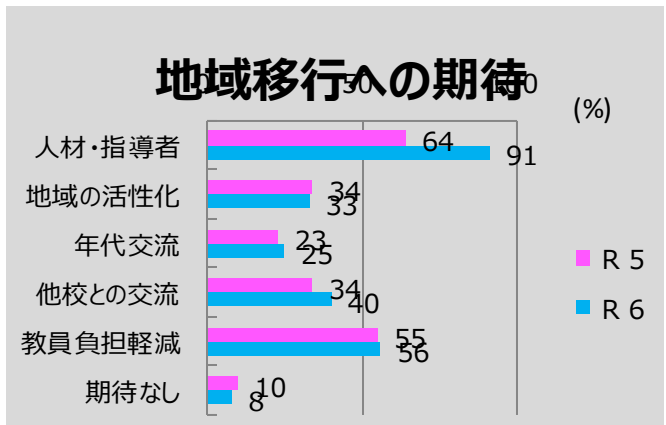
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

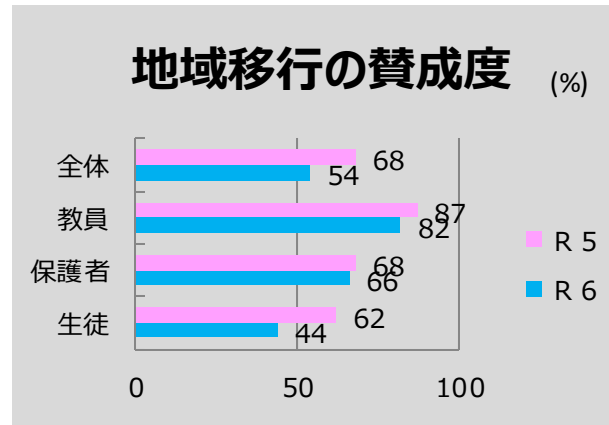
Q1.あなたは休日の部活動を地域に移行することについて知っていますか？



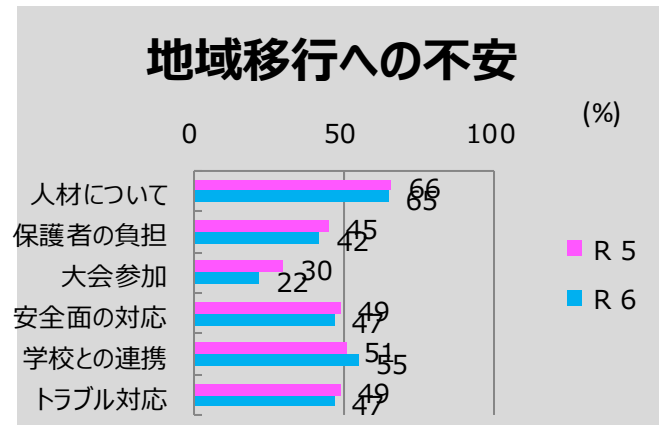
Q3.あなたは休日の部活動の地域移行について、期待することは何ですか？



Q2.あなたは休日の部活動が地域に移行されることについてどう思いますか？



Q4.あなたは休日の部活動の地域移行について、心配することは何ですか？



●参加者の声

中学1年生

・友達と一緒に野球ができるのが、とてもうれしい。監督は丁寧に教えてくれ、いつもどうすればいいか自分で考えて練習をするように言ってくれる。野球の楽しさを感じています。これからも周りの人達に感謝しながら、みんなで力を合わせて頑張っていきたい。

指導者

・生徒達は、日々生き生きと野球に取り組み、野球ができる喜びを身体いっぱい表現している。そのような生徒達から学ぶことも多く、自らも成長していると感じる。今後、人数の関係で市内でもチーム編成を余儀なくされる。生徒達が安心して野球ができる環境づくりを進めて行きたい。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

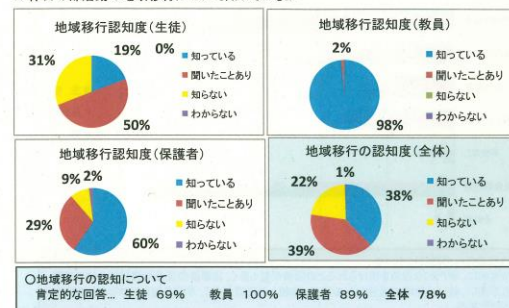
○アンケート結果の公表について

公表対象……………美馬市小・中学校校長会 美馬市部活動の地域移行推進協議会

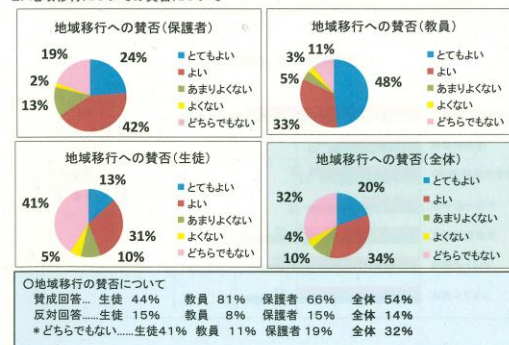
中学校の部活動の地域移行に関するアンケート調査結果(R6)

○回答者数
中学生 391 教員 66 保護者 151

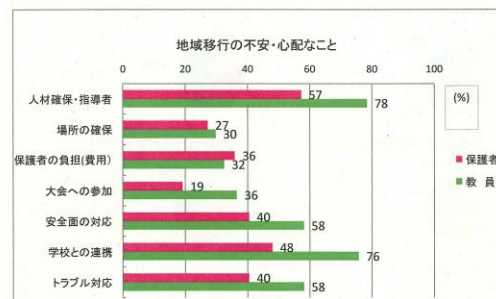
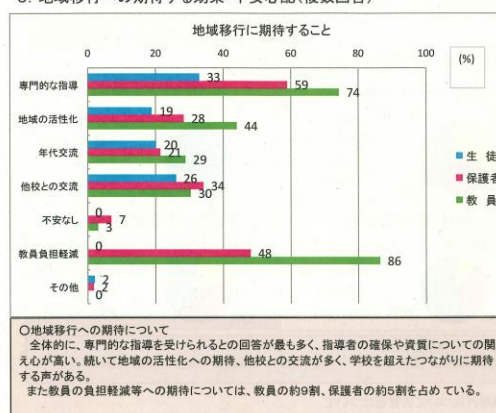
1. 休日の部活動の地域移行について知っているか



2. 地域移行についての賛否について



3. 地域移行への期待する効果・不安心配(複数回答)



【アンケート結果】

出典:「スポーツ/文化活動に関するアンケート調査(美馬市教育委員会)」

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【野球部の活動 練習開始】



【野球部の活動 練習】



【野球部の活動 ミーティング】



【指導員研修会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和2年

令和4年

令和5年

令和6・7年

部活動の充実

地域移行への準備

地域移行への取組開始

○「美馬市教育委員会部活動の適切な在り方検討会」を設置

- ・部活動の現状や在り方、課題等について協議
- ・合同チームの編制
- ・生徒の負担軽減措置
- ・送迎の負担の解消

○部活動に関するアンケート調査実施

○スポーツ庁・文化庁の地域移行ガイドラインを受け、地域クラブ体制整備事業を申請

- ・穴吹中学校野球部の休日を、地域スポーツクラブとして活動することを決定
- ・指導者の確保
- ・保護者と協議

○地域移行を見据えた組織編成について
「美馬市教育委員会部活動の適切な在り方検討会」をベースに検討

○「美馬市教育委員会部活動の地域移行推進協議会」の設置と会議の開催

- 地域移行推進のための「拠点校方式部活動」の試行実施の決定
- ・1活動を令和6年4月より

○地域クラブ体制づくり
・スポーツ団体と地域移行についての情報共有と協力体制の構築

○生徒のスポーツ文化活動の環境整備

○「美馬市教育委員会部活動の地域移行推進協議会」の会議の開催
・より具体的な方策について協議

- 地域移行推進のための「拠点校方式部活動」の試行実施（1活動）
- ・同時に他の部活動の拠点校化について協議を行う。

○地域クラブ体制づくり
・スポーツ団体と密接な連携をとり、可能な活動（体験教室）から実施の準備を行う

○生徒のスポーツ文化活動の環境整備

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

今後の部活動の充実及び休日における地域移行への取組

美馬市

【本年度（R6後期）設置の美馬市内の部活動】

運動部活動（7種目）

○団体種目
・軟式野球 ・サッカー
・バレーボール
＊うち拠点校1、合同6

○個人種目
・ソフトテニス ・卓球
・柔道 ・剣道

文化部活動（4分野）

・吹奏楽 ・茶道 ・ボランティア
・文化創造クリエイティ部

【部活動数】

運動30、文化6
計36

【取組内容】

		令和5年度	令和6年度	令和7年度（予定）
設定目標		①休日に部活動を地域クラブに移行するための環境整備や体制整備を行う	①休日に一部種目で、地域クラブとして活動の試行が行えるよう体制の整備を行う	①休日の部活動の一部種目の中で可能なものは、地域クラブに移行する ②部活動の一部種目は、令和8年度以降も部活動を継続する
地域連携	活動の充実 (環境整備等)	【生徒が希望する活動の支援】 ・合同チームの移動支援（R5年10月より） 野球部（江原中・穴吹中） 女子バレーボール部（岩倉中・穴吹中） サッカー部（江原中・美馬中） ・活動場所の確保（男女ソフトテニス部4校）	【生徒が希望する活動の支援】 ・合同チームの移動支援 「国交省：MaaS 部活動の移動支援サービス導入実証事業」として実施（R6年10月より）＊対象校はR5の通り（途中変更あり） ・活動場所の確保 【拠点校部活動の実施】 ・野球（拠点：美馬中） ・他種目へも拡充可能な協議	⇒合同チーム・拠点校部活動の移動支援を継続して実施予定 ⇒拠点校部活動を地域に移行するための協議を継続して行う
	指導者の充実	【部活動指導員の継続配置】市内9名	【部活動指導員の拡充及び研修】市内10名 ・地域連携の強化のための人材として、部活動指導員を拡充し、資質向上を図る。	⇒継続して取り組む
地域移行	地域移行推進組織体制整備事業	・「美馬市教育委員会部活動地域移行推進協議会」の設置と会議開催（2回） ・「地域スポーツクラブ体制整備事業」実施（穴吹中 軟式野球）	⇒会議開催（3回） ⇒継続実施	⇒会議開催（3回）予定 ⇒事業申請なし（当該校の活動形態変更）
	地域クラブ活動への条件整備	・推進体制の整備（地域移行推進監、コーディネーターの配置） ・AEDの設置 ・総合型スポーツクラブへのヒアリングの実施	・総合型スポーツクラブ等へのヒアリング実施 ・移行可能な部活動の受け入れ協議	⇒休日の部活動を地域クラブで行うための体制整備を行う ・試行実施（週末の活動、体験教室） ・補助金（地域移行支援事業費：資格取得・備品購入等 地域学習推進課）
アンケートの実施		・生徒、保護者、教員に実施し、集計考察	⇒継続して実施	⇒継続して実施（予定）
部活動加入		・市内で任意加入制の学校が増加	・市内全校で任意加入制となる（R6.4）	⇒継続